地域福祉教育の取り組みについて

福祉教育実践事例の紹介

社会福祉法人　富士宮市社会福祉協議会

地域ささえあい係

令和元年度

誰もが安心して暮らせる地域にするためには、様々な人の多様性を理解し、認め、お互いに支え合うことが必要です。そこで、人づくりを目指す学校教育において福祉教育の果たす役割は大変重要となります。

ここでは、実際に小中学校で行われた福祉教育プログラムの一部をご紹介いたします。福祉教育に取り組む際の参考にしていただき、福祉を幅広くとらえ、地域とともに学び合い、学校における福祉教育推進につなげていければと考えております。

福祉教育プログラムの実践事例

[（１）ユニバーサルデザインについて 2](#_Toc40025236)

[（２）地域福祉について ～地域の活動について実践者から話を聞く 地域の活動に参加する～ 3](#_Toc40025237)

[（３）地域寄り合い処について～地域に暮らす方々と交流する～ 6](#_Toc40025240)

[（４）当事者講師による講話～障がいの理解～ 10](#_Toc40025243)

[**①目が見えない方からの講話** 10](#_Toc40025244)

[**②車椅子を使用して生活している方からの講話** 11](#_Toc40025245)

[**③聞こえない、聞こえづらい方からの講話** 12](#_Toc40025246)

[**④当事者と支援者による講話** 13](#_Toc40025247)

# （１）ユニバーサルデザインについて

**依頼内容**：

地域に生きる一人の人として自覚を持った生徒を育成するためにユニバーサルデザインについて学び、安心安全なまちづくりをするために中学生にできることを考えていきたい。

|  |  |
| --- | --- |
| **時間** | 所要時間：60分　①9:00～10:00　②10:10～11:10 |
| **対象者** | 中学1年生　①20名　②22名 |
| **講師** | 社会福祉協議会職員 |
| **内容** | ユニバーサルデザインと障害者・高齢者について |
| **詳細** | 自己紹介・導入の説明（5分） |
| ユニバーサルデザインかるた（15分） |
| 講義：ユニバーサルデザインについて(15分)【社協職員】 |
| 講義：障がい者・高齢者について(15分)【社協職員】  障がい特性や手帳所持者数についてなど |
| 質疑応答（10分） |
| **成果と課題** | ・学年全体の授業として、6コース用意された内の1コースを担当。カルタを実施した事で、生徒達の授業への気持ちがほぐれ、講義へも良い流れができていた。  ・講義が15分ずつあると、説明も丁寧に行える事が分かった。  ・福祉を身近に感じてもらうことが出来た。  ・福祉教育の導入として活用できるのではないかと考える。 |

# （2）-1地域福祉について ～地域の活動について実践者から話を聞く 　地域の活動に参加する～

**依頼内容：**

多様な福祉への理解を深め、地域に密着した福祉に関して考える。

夏季休暇中の学びや地域活動への参加の関心につなげる。

**≪導入≫**

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：90分 |
| **対象者** | 小学4年生　104名 |
| **講師** | 地域寄り合い処のスタッフ、認知症カフェ代表者、地区社協役員、社協職員 |
| **内容** | 福祉について、子育てサロンについて、地域寄り合い処の活動について、  認知症カフェについて、地区社協の活動について |
| **詳細** | 自己紹介  講話：福祉について（10分）【社協職員】  子育てサロン、地域寄り合い処、認知症カフェ、地区社協を含む全体像の説明 |
| 講話：地域寄り合い処の活動紹介（15分）【地域寄り合い処スタッフ】  体験：地域寄り合い処で行っているレクリエーションの実施（10分） |
| 講話：認知症カフェの活動紹介（20分）【認知症カフェ代表者】 |
| 講話：地区社会福祉活動の紹介（15分）【地区社協役員】 |
| まとめ：参加してみたい地域活動について意見交換（10分） |
| **成果と課題** | * 生徒たちから地域活動に「行ってみたい」との声が聞かれた。 * 福祉について、多様な人の存在についての理解を深めるようなアプローチが必要。 |

夏季休暇中に、一部の生徒が地域寄り合い処の活動に参加された。

他事例では、事前学習後に子育てサロン、認知症カフェへの訪問と交流が行われた。

＊地区社協とは・・・

地区社会福祉協議会の略。地域住民を中心とした地域の福祉を推進する組織。

お互いさまの助け合いや支え合い活動、福祉の問題を学びあり、住民同士のつながりを強くするためにふれあう活動を行っている。

# （2）-2地域福祉について ～地域の活動について実践者から話を聞く 　地域の活動に参加する～

**依頼内容：**

高齢者福祉をテーマに学習。

敬老会へ参加し、お手伝いをするにあたり、高齢者のことについて理解を深めたい。

＊高齢者疑似体験に代わるプログラムを実施

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：45分 |
| **対象者** | 小学6年生　50名 |
| **講師** | 地域寄り合い処代表者、地区社協役員、社協職員 |
| **内容** | 高齢者福祉について |
| **詳細** | 先生より学習の目的を説明し、地域講師を紹介する。  市社協より今回の学習の導入説明をする。  講話：地域に暮らす高齢者として自身の生活や普段の活動について講話（25分）  【地域寄り合い処代表者】 |
| 講話：地区社協の活動紹介（15分）【地区社協役員】  高齢者を支える立場から活動に対する思いなど講話 |
| 先生によるまとめ |
| **成果と課題** | * 生徒たちに質問し、考えながらお話を伺うことができた。 * 子どもたちからの感想   + 戦中・戦後の自分たちの知らない時代のことを知ることができて良かった。   + 戦中、どんな気持ちで過ごしていたのかを知ることができた。   + 「お互い様」という言葉を聞いて支え合って生きていることを感じた。 |

**≪展開≫**

講話の前に地域の敬老会に参加し、交流をされている。

講話後は、地区社会福祉協議会主催のふれあい給食会に参加し、学習の成果を発表し、参加者と交流を図った。

# （2）-3地域福祉について ～地域の活動について実践者から話を聞く 　地域の活動に参加する～

**依頼内容：**

高齢者に焦点をあてて追及している。

地域の高齢者との出会いを通して、高齢者の特性を理解し、どのように声掛けをしたらいいのかなど関わり方を考える。

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：45分 |
| **対象者** | 小学5年生　82名 |
| **講師** | シニアクラブ役員、社協職員 |
| **内容** | シニアクラブの活動について |
| **詳細** | 先生より地域講師を紹介する。  シニアクラブの活動について紹介。学校とシニアクラブとの関りについて説明。  （35分）【シニアクラブ役員】 |
| 質疑応答（5分） |
| 子どもたちに地域のためにどのようなことがしたいか質問する。（5分） |
| **成果と課題** | * 活動者からお話を伺うことで、なぜこのような活動が必要なのか、活動を行うことでどのような効果があり、どのような気持ちになるのか、子どもたちが考え、地域活動への参加を促していきたい。 |

# （３）-1地域寄り合い処について～地域に暮らす方々と交流する～

**依頼内容：**

授業で「福祉」ということについて、質問したところ、生徒たちからは明確な答えが返ってこなかった。しかし、老人ホーム、デイサービス、寄り合い処という言葉が出てきた。寄り合い処について聞くと、学校帰りに見たことがあると答えが返ってきたが、何を行っているか、どのような人が来ているか、わからないので、考えてみた。笑顔で過ごせる場所、地域の友達が来る場所なのか、どのような人がどのような理由で来ているかを実際に生徒たちが訪問し、体験や交流を通して理解を深めたい。

**≪導入≫**

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：45分 |
| **対象者** | 小学4年生　31名 |
| **講師** | 地域寄り合い処の代表者3名、社協職員 |
| **内容** | 地域寄り合い処について、活動状況についての説明 |
| **詳細** | 自己紹介  講義：地域寄り合い処について（10分）【社協職員】 |
| 説明：○○寄り合い処活動紹介（10分）【地域寄り合い処代表者】 |
| 説明：△△寄り合い処活動紹介（10分）【地域寄り合い処代表者】 |
| 説明：□□寄り合い処活動紹介（10分）【地域寄り合い処代表者】 |
| 質疑応答（5分） |
| **成果と課題** | * 9月に地域寄り合い処の見学をする予定となっていたため、活動前の導入として実施した。 * 授業後、生徒が夏休みに近くの寄り合い処へ自主的に参加した。 |

**≪展開①≫**

9月に地域寄り合い処の見学を3か所に分かれて実施した。

【所要時間】見学・交流1時間

【プログラム】①子どもたちが考えた活動(遊び・音読・ソーラン節)

②インタビュー

③肩もみ

④運動会の招待状を渡す

**≪展開②≫**

11月に地域寄り合い処を再度訪問し、交流をした。

【所要時間】交流1時間

【プログラム】①昔のあそびを一緒に行う。

②肩もみ

③文化祭の招待状を渡す

④交流後、参加者にアンケートを実施

※**地域寄り合い処とは**・・・

身近な地域の方たちが、区民館や自宅などを使用し、おしゃべりのできる場を通じて仲間づくりや生きがいづくりを進め、孤立の予防・解消をしていく場所。

富士宮市内には、119か所ある。（令和2年4月現在）

# （３）-2地域寄り合い処について～地域に暮らす方々と交流する～

【出張寄り合い処】

**依頼内容：**

高齢者や身体障がい者の生活を疑似体験することで困り感を体得したり、福祉の現状について疑問や興味をもったりする。総合的な学習の時間で追及する課題を見つける。

＊総合的な学習の課題追及テーマを探るため、福祉をテーマとした学習を行う。

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：40分×3回 |
| **対象者** | 中学1年生 |
| **講師** | 寄り合い処スタッフ、地区社協・地域福祉関係者、市社協 |
| **内容** | 出張寄り合い処 |
| **詳細** | グループに分かれ、寄り合い処の皆さんと交流する  説明：地域寄り合い処について【社協職員】  体験：寄り合い処の参加者とレクリエーションを通じて交流  　　　事前にいただいた質問に答える  　　　中学生にも質問をし、意見交換を行う。 |
| **成果と課題** | * 総合的な学習の1つのテーマとして実施。 * 寄り合い処の方が学校に出向くという初めての取り組みであったが、限られた時間で交流できた。 * 寄り合い処の参加者からは、「若い人の気持ちや考えを知ることができた」との感想が聞かれた。 * 学校からは、「高齢者の方々の持つ悩みや困り感などについてお話を伺い、街で見かけたら積極的に手伝ってあげたいという気持ちが増したようです」との感想が寄せられた。 |

# （３）-3地域寄り合い処について～地域に暮らす方々と交流する～

【出張寄り合い処】

**依頼内容：**

高齢者に焦点をあてて追及している。

地域の高齢者との出会いを通して、高齢者の特性を理解し、どのように声掛けをしたらいいのかなど関わり方を考える。

**≪導入≫**

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：40分 |
| **対象者** | 小学5年生82名 |
| **講師** | 寄り合い処代表者、市社協 |
| **内容** | 地域に暮らす高齢者について、地域寄り合い処の活動について |
| **詳細** | 先生より、学習の目的の説明、講師の紹介  講話：地域に暮らす高齢者について（15分）【社協職員】  説明：地域寄り合い処について【社協職員】 |
| 講話：地域寄り合い処の活動紹介、高齢者との関わり方について（15分）  体験：脳トレゲーム　【地域寄り合い処代表者】 |
| 講話：地域寄り合い処の活動紹介、小学生に伝えたいこと（10分）  【地域寄り合い処代表者】 |
| まとめ |
| **成果と課題** | * 寄り合い処代表者から活動内容や参加者の様子などを伝えていただいた。 * 学校より、子どもたちが地域の方やお年寄りの方とどのように接したらいいかわからないとの話があったため、子どもたちにできること、お願いしたいことを話した。 |

**≪展開≫**

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：60分 |
| **対象者** | 小学5年生82名 |
| **講師** | 寄り合い処代表者、市社協 |
| **内容** | 出張寄り合い処 |
| **詳細** | 学校に寄り合い処の方に来ていただき、クラスごと分かれて交流する。  寄り合い処発案のプログラム（体操やダンス等）  子どもたち発案のプログラム（ゲーム等）  交流後、感想を伝え合う。 |
| **成果と課題** | * 実施に地域の方と子どもたちが交流することで、お互いに気づきや発見があった。子どもたちからは「どのように話せばいいか分かった」との感想が聞かれた。 |

# （４）当事者講師による講話～障がいの理解～

## **①目が見えない方からの講話**

**依頼内容：**

体験や当事者から直接話を聞くことを通じ、本人ができることや不便を感じ困ることを理解し、自分たちと変わらない点や自分たちにできることを理解させたい。

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：45分 |
| **対象者** | 小学4年生 |
| **講師** | 当事者講師 |
| **内容** | 講話 |
| **詳細** | 先生による今回の学習の説明、講師紹介  講義：講師による講話（30分）  １、自己紹介  ２、1日の過ごし方、料理や外出、趣味、人との交流について  ３、日常生活用品の紹介 |
| 感想発表（5分） |
| **成果と課題** | * 初めての試みでりんごの皮むきをしていただいたが、子どもたちがとても驚いていた。障がいと聞くとできないことに目を向けがちであるが、できることや本人の趣味、交流などその人の人となりを理解したり、私たちと同じようにできることを伝えていきたい。 |

## **②車椅子を使用して生活している方からの講話**

**依頼内容：**

体験や当事者から直接話を聞くことを通じ、本人ができることや不便を感じ困ることを理解し、自分たちと変わらない点や自分たちにできることを理解させたい。

様々な人がよりよい生活ができるように、お互いを認め合い、支え合いながら生きていくことの大切さに気づかせる。

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：90分 |
| **対象者** | 小学5年生　79名 |
| **講師** | 当事者講師 |
| **内容** | 講話、ユニバーサルデザインクイズ |
| **詳細** | 講義：当事者講師による講話（50分）  写真や映像を使い、生活の様子や障がい者スポーツ等について説明 |
| 体験：ユニバーサルデザインクイズ（20分） |
| 質疑応答（20分） |
| まとめ：代表生徒による感想発表（5分） |
| **成果と課題** | * クイズは全員参加でき、動きも出る。 * ユニバーサルデザインについての説明が必要。 |

## **③聞こえない、聞こえづらい方からの講話**

**依頼内容：**

体験や当事者から直接話を聞くことを通じ、本人ができることや不便を感じ困ることを理解し、自分たちと変わらない点や自分たちにできることを理解させたい。

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：75分 |
| **対象者** | 小学4年生 |
| **講師** | 当事者講師、市役所障がい療育支援課職員 |
| **内容** | 講話、体験 |
| **詳細** | 導入：講師による手話での会話  講義：当事者講師による講話（15分）  介護障害支援課職員が手話通訳しながら講話をされ、説明を加える。 |
| 体験：コミュニケーション①  口の動きを読み取る体験  体験：コミュニケーション②  身振りやジェスチャーで伝える体験 |
| 講義：福祉機器の説明、災害時のこと（10分） |
| 講義：手話言語条例について（5分） |
| 体験：手話を表してみよう（15分） |
| まとめ |
| **成果と課題** | * 体験を通して、子どもたちが当事者とコミュニケーションを取ろうと考えて行動していた。 |

## **④-1当事者と支援者による講話**

**依頼内容：**

障がいの理解。要約筆記についての理解。

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：90分 |
| **対象者** | 小学4年生　27名 |
| **講師** | 要約筆記サークルふじざくら |
| **内容** | 当事者講師による講話、要約筆記について、体験 |
| **詳細** | 導入：自己紹介　だれが聞こえない人でしょう？  講義：当事者講師による講話 |
| 体験：口の動きを読み取る  　　　耳をふさいで聞いてみる |
| 講義：要約筆記について説明  体験：要約筆記体験①  講師が話していることを書いて伝える。  体験：要約筆記体験②  二人ペアになって、自分が話したいことを書いて伝える。 |
| まとめ：筆談の難しさ、皆さんにおねがいしたいこと |
| 子どもたちの感想発表 |
| **成果と課題** | * 当事者であるご本人の思いと支援者の活動について理解を深めることが出来た。 |

## **④-2当事者と支援者による講話**

**依頼内容：**

障がいの理解。点字についての理解。

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | 所要時間：90分 |
| **対象者** | 小学4年生　27名 |
| **講師** | 点字情報富士宮 |
| **内容** | 講師による講話、点字を書く体験 |
| **詳細** | 講話：当事者講師による講話（20分） |
| 講話：視覚障がいがある方とのかかわり方（20分）  　　　寸劇に子どもたちにも参加してもらいながら説明 |
| 質疑応答 |
| 講話：盲導犬について説明 |
| 講話：点字ついて説明  体験：点字を書く体験 |
| 質疑応答 |
| **成果と課題** | * 視覚障がいがある当事者からの講話を通して、子どもたちは驚き、尊敬の声が聞かれた。 * 実際に点字を書いてみることで理解を深めることができた。 |

**福祉教育実践の留意点**

* ここで紹介した事例以外も、福祉教育の取り組みはあります。
* 内容や時間等については、社会福祉協議会へご相談ください。
* 依頼に際しては、講師の調整や事前打ち合わせを行うため、**2か月前**にご相談ください。

【お問い合わせ】

社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会

地域ささえあい係

TEL 0544－22－0054

FAX 0544－22－0753